日本共産党
流山北部後援会

ニュースあすなろ

2018年7月
第２３３号
発行責任者
菊池 伍郎
TEL/FAX
7154-0526
小倉 卓郎
TEL/FAX
7155-0272
（部内資料）

国にもの申すことが出来る市民の立場に立った議会に

6月議会　反対討論無いまま「反対」？

6月議会最終日、意見書の採択で流山市議会議員の立場がはっきりと見えてきました。来年の市議選を意識してなのか、国に物申す内容の意見書は、ことごとく否決となってしまいました。

普通の感覚なら、選挙を考えたら、より市民目線に立った賛否の態度をとるのでは?と思いますが、見事に真逆でした。

それも、どの意見書も、反対した議員からの反対討論は全く無いままでの反対です。

憲法を生かす政治を国に求めたり、米軍機のトラブルの原因究明を国に求めたりするのは当然のことだと思うのですが。

東海第2原発再稼働認めない

東海第2原発で重大事故があったとき水戸市から6000人余りの避難民を流山市で受け入れる協定（前号既報）について。「福島第1原発の事故でさえ流山市はホットスポットになっているのに、より近い東海第2原発で、もし事故が起きたら、受け入れるどころか流山市も被災して、流山市民も避難住民になるでしょう。そういう想定はないのか…」。市長から答弁は出てきませんでした。担当課長とのヒアリングでは、「流山市は被災しないという想定で話がきた」とのこと。

受け入れる、受け入れないとかではなく、根本原因の東海第2原発再稼働は認めないという立場を明確にするべきだ、と迫りましたが、「意見は承りました。」という市長答弁で、それ以上の答弁はありませんでした。

被災者に寄り添う気持ちもなければ、自分も放射能を浴びるかもしれないということも考えないのでしょうか…。　植田和子

再稼働やめ　原発から撤退を!!

第28回　植田和子　入場無料
６月議会報告会

市民の暮らし、子供たちの置かれた環境、そして国政について暑いさなかではありますが、熱い議論をしましょう。

日時　8月1日午後2：00～4：00
場所　北部公民館第２会議室
お誘い合わせおいでください。

西日本豪雨災害救援募金受付!!

西日本広域に豪雨が襲いました。政府の対応の遅さもあり、２００名以上の亡くなった方、行方不明者が出ました。雨が止んでからも河川やダムの決壊、後かたづけに、被災地は不安の毎日を送っています。日本共産党は全国各地で救援募金を行っております。お預かりした募金は全額被災者の救援に充てます。郵便振替での送り先●口座番号００１７０　９１４０３２１●加入者氏名　日本共産党災害救援募金係。※通信欄に「豪雨災害救援募金」と記してください。

7月7日、おおたかの森駅で
7区市民連合が願い届けと七夕宣伝

こんにちは　植田和子です

7月5日　6月27日に6月議会が無事に閉会しました。議会の詳しい内容については、また議会報告会の中で報告させていただきますので、最終日の報告だけ、先にお伝えします。

今回、日本共産党流山市議団は、6本の意見書を提案しました。今回は1本可決しました。（左表に各党の賛否記載）。

◆性犯罪規定のさらなる見直しに向け、充分な取り組みを求める
（私が登壇して読み上げました）全会一致で可決
◆憲法９条改正に反対し、憲法を生かす政治を求める　7：19で否決
《賛成》日本共産党４人、社民党の阿部議員、市民クラブ藤井議員、森田議員
《反対》自民党４人、公明党３人、流政会８人、市民クラブ西尾議員、西川議員、楠山議員、無所属の菅野議員
◆自衛隊による文民統制を揺るがす事態に抗議し、文民統制の強化を求める　10：16で否決
《賛成》日本共産党４人、市民クラブ５人、社民党の阿部議員
《反対》自民党４人、公明党３人、流政会８人、無所属の菅野議員
◆米軍所有の航空機等相次ぐトラブルの原因究明と再発防止を強く求める　10：16で否決
《賛成》日本共産党４人、市民クラブ５人、社民党の阿部議員
《反対》自民党４人、公明党３人、流政会８人、無所属の菅野議員
◆医師の労働環境の改善を求める　10：16で否決
《賛成》日本共産党４人、市民クラブ５人、社民党の阿部議員
《反対》自民党４人、公明党３人、流政会８人、無所属の菅野議員
◆技能実習制度の課題解決に向けた取り組みの強化を求める　10：16で否決
《賛成》日本共産党４人、市民クラブ５人、社民党の阿部議員
《反対》　自民党４人、公明党３人、流政会８人、無所属の菅野議員

暑い日が続いています。水分をこまめにしっかり取って、体調管理にお気をつけください。　植田

お子さん連れの家族など、多くの方が足を止め、寄せられた短冊は１２５枚にのぼりました。笹に結びました。スタッフは約20名で、年金者組合「みんなで唄う会」の方たちがアコーディオンと共に賑わいを添えてくれました。

ヘッドライト

タイ洞窟の少年たち13人の救出には各国が協力。奇跡の生還。リーダーは僧として瞑想の修行をしたという青年。予想外の豪雨で閉じ込められながら、その沈着な行動が子供たちの体力消耗を防ぎ、動揺を抑えて救出を待った▼一方、日本では西日本の豪雨禍。すでに２百人以上の死者。気象庁は50年に一度の災害の恐れと異例の警告を続けた。ダムを放水して、洪水を起こした事件も。こうなるとまたしても現場の操作の責任ばかりがクローズアップされる。防の設計「ダムや堤に問題はなかったか」の危険は「他に同様ないか」などこそが問題だ▼この警告が再三出されている最中に総理はじめ自民議員は宴会。公明石井国交相は被災地よりも国会のカジノ法案が大事かと、批判されながらもカジノ法案強行のため国会へ。どこまでも軸が狂っている安倍内閣▼南北融和の動きの中で一千億円もするイージスアショアや災害時には役にも立たないヘリのオスプレイなどに大金を使っている場合ではない。地球が病み、慟哭している。災害大国日本は、国民の命を守るのが最優先。

地球慟哭

シンポジウム「流山市の過大規模校の現実と問題」

トイレ・手洗い・水飲み自由に出来ない

小学校区はコミュニティの基本

7月1日（日）おおたかの森ホールで「流山市の過大規模校の現実と問題」をテーマに100人近くの参加でシンポジウムが行われました。基調講演では和光大学教授の山本由美さん（写真右）が、「小学校区はコミュニティの基本になる。大規模校は地域のコミュニティを壊す。小規模校が望ましい」などと話されました。

その後、おおたかの森小学校や小山小学校に子供を通わせる母親・父親などからトイレに行く時間も制限され、水道の蛇口が少なく、おしぼり持参で登校している。ボール遊びが出来ない。校庭の使用も時間制限されている。など、多くの問題が出されました。

また、おおたかの森での人口増対策のあおりで江戸小などの改築が遅れることも懸念されます。流山市全体の子供の置かれた環境の悪化といえるでしょう。今後、市の対応を潤滑にするために、運動を進めなければなりません。　美原　Y・K

あたたかい46人の卒業式

今年の3月、孫が野田市立東部小学校を卒業しました。卒業生は小規模校2クラスの46人。小学校の体育館で在校生と対面方式での卒業式でした。

卒業証書を手に一人ひとりが6年間の学校生活と中学校での抱負を生き生きと話し、在校生も46人の代表が卒業生一人ひとりの思い出と感謝を述べました。これに要した時間は1時間余り。ありきたりの形式ではなく心温まる「子ども達による子ども達のための卒業式」でした。

いま流山市では、おおたかの森地区を中心に大規模校の問題が浮上。5年後には児童数が1668人、48学級（国の基準12級以上18級以下）になるおおたかの森小学校や、3年後に大畔（おおぐろ）地域に新設される学校も1083人とのことです。

このような大規模校の教育現場では、今まで考えられないようなことが現に起こったり懸念されています。

・運動会では父兄は校庭に出られず別室のテレビモニターで観る。
・運動会を3回に分けて行う。
・手洗いの蛇口が不足し水筒を持参。などなど…。

「母になるなら流山」と子育て世代を呼び込んで、増えた子どもは学校と称する施設に「収容」する。ここで、ほんとうに子ども達が心豊かに成長できるでしょうか。教師は一人ひとりにきめ細かな指導ができるでしょうか。子ども不在の「行政の都合による行政のための学校」にしては絶対いけません。

江戸川台東　保坂

一年ぶりに食べられた!!

側臥位（そくがい）法で口からゼリー

7月1日・8日号の赤旗日曜版に赤旗読者であり、あすなろ読者のNさんの嚥下治療（えんげちりょう）の記事が掲載されました。一年以上口から食べることが出来なかった夫の「もう一度鰻重が食べたい」の言葉に妻も「一口でも食べさせたい」の思いが。赤旗日曜版1月28日付けの「嚥下障害克服　食べる喜び再び」の記事に目をとめ、医師に相談の上記事に紹介されていた長野県の病院に夫の病状などをしたため、手紙を出したのです。

長野県から往診・診察してくれた福村直毅医師と出会い、希望と楽しみが大きく膨らみました。だれもが口から食べられるための診断と治療を受けられるようになって欲しい」とNさん。

福村医師は「正確な診断ができる医師を増やし、死亡減、生活向上、高い薬不要、完全側臥位法を普及させたい」と。Yできるようになり、ウナギをすりつぶして食べることが希望になりました。

「私たちは福村医師は、完全側臥位（横向き）法を看護師や妻に説明。対応の仕方の注意もあり、口からとろみ茶を飲むことが出来ました。その後、ゼリーやヨーグルト・プリンなどを食べることが

生活相談

毎月第3日曜日午後1時から3時
場所　日本共産党流山北部事務所
電話　7154・0288

日本共産党本部見学会！

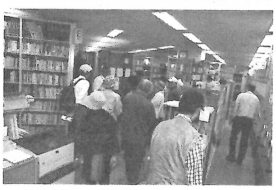
北部後援会は6月18日（月）日本共産党本部の見学会を行いました。参加者の声を紹介します。

◎初めて行ってビックリ、キョロキョロ。◎資料室（写真下）は圧巻でした。書籍はもとより、各新聞雑誌をはじめ漫画まで、貸し出しもすると言うことでした。◎担当者が、どの部署でも丁寧に説明（写真上）していただきました。◎党幹部と一緒に食堂で昼食。幹部の方達の顔色が良く活き活きとして、疲れた表情は見られませんでした。

◎あかつき印刷では大阪の地震の日だったので緊迫していたのがよくわかりました。◎新聞づくりの緊迫したやりとりを目の当たりにして、感動しました。◎印刷能力が優れていました。40万部を印刷できる敷地も確保されていたので、「もっと赤旗を読んでもらう人を増やさないと」と思いました。

◎本部屋上には庭園があり、アンネフランクのバラなどの名前が付いたバラが、咲いていました。明治公園を散策しながら帰途につきました。

（編集部）



平和を考えるイベント紹介

「スノーデン」小笠原みどりさん講演会
（ご存じですか、CIAに監視されている貴方を）
8月19日（日）午後2時開演
場所　南福祉会館
資料代500円　九条の会・流山

第20回平和のための戦争展とうかつ
入場無料
第1部　8月11日（土）14時～16時30分
場所　アミュゼ柏クリスタルホール
記念講演　柳沢協二さん
「今、平和のために考える戦争と憲法」
第2部　8月16日午後2時から19日午後3時まで
場所　パレット柏市民ギャラリーなどで
東京大空襲絵図の展示、朗読・証言・紙芝居歌声など

あすなろ川柳

●危機意識
無く　宴会で
民忘れ
気象庁が豪雨災害の危険を異例の記者会見で発表した日に閣僚達は宴会で？緩慢だったとか。

●オウム死刑
命じて宴会
法務相
麻原ら7人も死刑執行を命じて宴会に出席していた上川陽子法相。法の執行にイタミはないのか

●裏入学
やがてメス持ち
お医者様
医大の裏口入学が露呈いがする

●三横綱
土俵の外で
そろい踏み
力士が大型化。体重が重すぎるのも原因といわれるが、ケガが多すぎる